

平成28年
12月15日号

みのり

【発行】
早通小学校区
コミュニティ
協議会広報部

～お正月は「塞ノ神」だよ～

新年恒例行事の「塞ノ神」を1月9日（成人の日）の正午から、早通小学校裏の空き地で実施します。

「塞ノ神は」地域を病気や災害から、守ってくれる道祖神のひとつです。燃え上がる火に、するめをあぶり、甘酒を飲んで、新年の健康を祈りましょう。

11月3日に、上早通でヨシ刈りを実施、大量に確保しました。するめは、早小の子どもたちが竹の棒に取り付けてくれます。大勢きてくださいね！



日時；平成29年1月11日(月) 正午から2時まで
場所；早通小学校裏空き地

〈7月以降の主な行事〉

8月 1日	定例役員会。残土処理が問題に
18日	宗通寺。写経、亀田縞のうちわ作り
22日	区長懇談会。福祉センター2F
9月 1日	早小コミ協 福祉計画案
11日	自転車交流会
18日	市民フォーラム（文化会館）
25日	歩け歩け交流会
10月 3日	定例役員会。ヨシ刈りの日程など
8日	おはよう朝ごはん
26日	自転車交流会
11月 3日	ヨシ刈り（午前8時半から）
12月15日	みのり発行
1月 9日	塞ノ神（点火、正午）
3月20日	新潟ハーフマラソン

～夏休みお楽しみ会～



夏休みのお楽しみ会が8月18日に、行われました。38名が参加し、午前中は上早通の宗通寺で、般若心経の写経と座禅をしました。午後は学校に戻って、亀田縞を使ってうちわを作りました。暑い夏もこれがあれば大丈夫。

～第14回歩け歩け交流会～



第14回歩け歩け交流会が9月25日、秋晴れの下で実施されました。早小から茅野山の梨畑まで往復7キロを、100人を超える参加者が約3時間かけ、元気に歩きました。歩いた後は神明会館で、豚汁とビンゴゲームを楽しみました。豚汁はとてもおいしく、完食でした。

～おはよう朝ごはん～



10月8日、早小の家庭科室で「おはよう朝ごはんの講習会」が開かれ、私も参加しました。食生活改善推進員の指導の下で、早小の児童、保護者、コミ協関係者ら37人が、朝ごはんを作りました。

メニューは①ねばねば丼②キャベツの彩りサラダ③味噌汁④バナナオムレツの4種類でした。

どれもうまく出来上がり、おいしく試食させていただきました。

みなさん、子どもも大人も、朝食をしっかりとって、1日を元気にスタートし、勉強や仕事に励みましょう。（佐藤洵吉・早小コミ協会長）



28年度は、コミ協と早小の共催事業として「夏休みお楽しみ会」、「おはよう朝ごはん」、早小の子どもたちにスルメ付けのお手伝いをお願いした「賽の神」、小学校から高齢者まで多くの参加者で賑わった「歩け歩け交流会」などの事業も大好評となりました。

29年度も様々な事業を予定しておりますので、多くの皆様のご参加をお願い致します。

早通小学校区コミュニティ協議会**事務局**が早通小に設置されました

～早小グラウンド脇の工事について～

東部地域土木事務所の職員さんに、グラウンド脇道路工事について、聞きましたので、お知らせします。

8月下旬にグラウンド脇に並べられた黒い盛土が撤去されたのに、気づかれたと思います。その跡に、仮設の歩道が設置され、今度は道路側に白い盛土が置かれました。白い盛土は来年の夏頃まで設置予定とのことですが、歩道内の通行人が見えづらいので、注意喚起の看板を取り付けるそうです。

工事は年度計画に沿って進めており、完成は平成33年頃を予定しているそうです。付近を自動車で行く際は、歩行者等に十分注意しましょう。

～ピックスワンを舞台にハーフマラソンが初開幕～

マラソンといえば、新潟シティーマラソンが思い浮かびますが、2017年3月20日には「新潟ハーフマラソン」も開催されることになりました。早小校区内を通ります。

県スポーツ公園をスタートし、弁天線から県道白根・亀田線を通るコース設定になっており、JA新潟みらい農機センター付近には給水所が設置される予定です。

このコースは日本陸連公認となっており、トップアスリートも参加が予定されています。早小コミ協も大会運営に協力することになりました。トップ選手の走りを見る絶好の機会です。

地域の皆様からのご協力と声援をお願いいたします。

～近隣所が助け合い、声を掛け合う「多世代交流のあるまち」に～

平成27年度より「江南区地域福祉計画・地域福祉活動計画（ふれあいささえあいプラン）2015～2020」がスタートしています。江南区住民を、地域全体で支え、住み慣れたところでだれもが、その人らしい自立した生活が送れるように、「支え合い」の仕組みづくりと「地域力」の向上を推進します。

その計画の中で、9月には住民座談会を開き、早通小学校区内の地域別目標「隣近所が助け合い声をかけあう、多世代交流のあるまち」に向けた活動を話し合いました。地域の夏祭りや梨刈り、塞ノ神などの行事を通じて地域の交流が図られ、小学生のあいさつが地域の活力になっていると感じさせられました。

今後は、地区内全域に自主防災組織を立ち上げ、災害時の支援方法の検討や、男性も参加しやすい「地域の茶の間」をつくりたいなどが、課題としてあげられました。

江南区福祉協議会では、課題に解決に向けた地域づくりを、早通小学校区内の皆様と一緒に進めていきますので、ご支援とご協力よろしくお願い申し上げます。

（江南区社会協議会・高橋桂子事務局長補佐）

～「還付金がある」は、まず詐欺を疑え～

市役所職員等のふりをして「還付金がある」といった偽りの電話が多くかかってきています。スーパーなどに設置されたATMを操作させ、現金を振り込ませる手口です。「医療費や税金の還付金がある」と持ち掛けるのが多いようです。ATM操作でお金が戻ることはありません。携帯電話を掛けながらATMを操作している人を見かけたら、店員に教えてあげてください。

【車上狙いが急増】

駐車中の車から現金などを盗む被害が増えています。今年10月末現在で38件、昨年同期の5割増しです。半分以上が無施錠。外から金目のものが見えると、窓ガラスを破って盗るケースもあります。車の修理代だけでも大損害です。ドアロックを忘れずに。車内には貴重品を残さないように。



【自転車盗は2日に1件】

自転車盗が10月末までで177件も発生しています。2日に1件の計算です。

未届け事案も含めるともっと多いと思われます。必ずカギをかけましょう。ワイヤー錠など、カギを2つ以上かけるのが安全です。（江南署・生活安全課）

～消えた自転車 - 新発田で見つかる（私の体験）～

玄関先の小屋に置いた私の自転車が、ある朝、突然消えた。猛暑が続いていた7月17日のことでした。すぐ、江南署に盗難届を出しました。しかし、なかなか見つからず、あきらめて新しい自転車を買ったとたんの8月12日、新発田署から電話があり、同市内で見つかったという。さっそく、その日のうちに受け取りに行きました。

乗用車には載せられないので、乗って帰る羽目になりました。あいにくの猛暑と強風の中3時間のサイクリングに、もうくたくたでした。

カギはもちろんついていたのですが、買って8年もたった自転車なので、まさか盗る人もなかろうと、掛けないでいることが多かったのです。いい教訓になりました。自転車には必ずカギをかけましょう。

それにしても、泉町から新発田まで乗って行った人も疲れたことでしょう！

（早小コミ協広報担当・佐々木）



～どんどん良くなる「振り返りノート」～

いつも地域の皆様から学校の教育活動を支えていただいていることに、心より感謝申し上げます。早通小学校が、いま、特に力を入れてがんばっていることについてご紹介させていただきます。それは、「家庭学習」です。早通小学校児童の家庭学習ノートが、どんどんすばらしくなっています。



早通小学校では、今年度の後期から、宿題の内容を変えました。今までの、「基礎的な学習（計算や漢字）」に加えて、「振り返りの宿題」を取り入れました。その日あった授業を振り返り、自分が分かったことや考えたことについて自分の言葉でまとめてくる宿題です。授業を復習して理解を深める宿題、ということもできます。そうすることで、思考力や表現力を高めることにも効果があります。

1年生は5行以上、2～4年生は10行以上、5・6年生は1ページ以上を目標に、毎日、授業の振り返りを全校児童が書いてきます。1年生でも、「12-9の計算の仕方」等を自分の言葉で、ノートに説明を書いてくることができるようになりました。高学年では、授業の課題に対する自分の考え、友達の意見、みんなで話し合っただけのまとめや、分かったことを、段落に分けて見やすく書いてきます。

級外職員が全校児童のノートを集めて赤ペンを入れていきます。児童のノートの内容が日に日に充実していく様子を感じられ、職員室の話題となっています。宿題の提出率も確実に上がってきています。目指すは、当然100%です。全校児童のノートを順番に掲示する取組も行っています。ご来校の際に、校長室脇にある掲示板の児童のノートを御覧いただければと思います。

早通小学校児童の学力は、全国平均とほぼ同じです。しかし、家庭学習の時間が全国平均より少ないという課題があります。「振り返り宿題」を継続することで、この課題を解決していきます。児童の家庭学習に応援をよろしくお願いします。（早通小学校・齊藤裕子校長）

～新しい応援団〈はよしよの会〉～

〈結成のいきさつ〉

「はよしよの会」は、今年度、早通小学校保護者有志で立ち上げた「子育て・親育ち」の活動に取り組む会です。「できるときにできること」を無理なく楽しく続けるのがこの会の趣旨です。

〈会員は口コミで拡大〉

当初有志4名で立ち上げたのですが、会合（という飲み会）を重ねる毎に会員を増やし、いつの間にか3倍以上になっていました。学校という枠組みを超えて、この地域での暮らし続けるためのネットワークにつながられたらと考えています。

〈豚汁作りで大人の“本気”を伝える〉

文化祭では、地元の方から野菜の無償提供、コミュニティ協議会から機材の貸与、そして、「はよしよの会」のチームワークのおかげで400人分の豚汁ができました。会合で築き上げた信頼関係の下で、1つの目標を本気で目指す姿は、肌寒い体育館の中で豚汁と同じような熱さがありました。こうした大人の本気が、子どもに伝わればうれしです。

